



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 ティアック株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 6803 URL <http://www.teac.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 英 裕治
 問合せ先責任者（役職名） 財務部長（氏名） 吉村邦彦 (TEL) (042) 356-9116
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,096	△21.8	△399	—	△617	—	△543	—
24年3月期第3四半期	19,303	△31.6	△490	—	△786	—	△886	—

（注）包括利益 25年3月期第3四半期 △351百万円（－％） 24年3月期第3四半期 △1,473百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△1.88	—
24年3月期第3四半期	△3.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,603	3,494	17.6
24年3月期	19,637	3,790	19.3

（参考）自己資本 25年3月期第3四半期 3,444百万円 24年3月期 3,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注2）平成25年3月期の期末配当は、業績等を考慮して決定する予定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	24,500	△8.2	900	166.1	450	—	350	291.2	1.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、【添付資料】P. 4 「2. サマリー情報 (その他) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	289,317,134株	24年3月期	289,317,134株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	981,511株	24年3月期	972,953株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	288,340,724株	24年3月期3Q	288,349,024株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、震災からの復興需要等を背景として、緩やかな回復傾向にあるものの、海外経済の減速や円高の影響を受け、低調な動きとなりました。世界経済も、アメリカでは緩やかな回復傾向が続いていますが、欧州では財政危機の影響により景気低迷のリスクも存在し、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは収益性の改善と光ディスクドライブ事業の改革を方針とした事業計画を遂行中であり、売上高は15,096百万円（前年同期比21.8%減）と減収となりましたが、営業損失は399百万円（前年同期営業損失490百万円）、経常損失は617百万円（前年同期経常損失786百万円）、四半期純損失は543百万円（前年同期四半期純損失886百万円）と、損失は縮小しました。

当社は、オンキヨー株式会社との資本・業務提携により、販売拡大、製品付加価値の向上、製品競争力の強化、新市場の開拓等においてシナジー効果を創出し、安定した業績の実現を目指しています。欧州においては、6月にオンキヨー株式会社のドイツ子会社であるオンキヨーヨーロッパ社を、欧州地域におけるコンシューマオーディオ製品の販売代理店としましたが、更なる販売強化・事業の効率的な運営を目的として、当第3四半期連結会計期間に、当社の連結販売子会社であるティアックヨーロッパおよびティアックUKの一般AV機器（TEACブランド）、高級AV機器（ESOTERICブランド）の音響機器事業をオンキヨーヨーロッパ社に事業譲渡しました。

参考：在外連結子会社の連結の際の円貨への換算レート

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間	
	期中平均相場	決算日の直物相場	期中平均相場	決算日の直物相場
米ドル	78.98円	77.74円	79.95円	86.58円
ユーロ	110.63円	100.71円	102.04円	114.71円

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

1) 音響機器事業

音響機器事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、8,283百万円（前年同期比11.1%減）となり、営業利益は184百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

高級AV機器（ESOTERICブランド）は、SACDプレーヤーの販売が引き続き堅調に推移、また期中に投入したクロックジェネレーター、インテグレートドアンプの新製品も好調に推移しました。一般AV機器（TEACブランド）は、PCオーディオ関連製品が、引き続き日本を中心に好調に推移、また、期中に投入したハイエンドヘッドホンアンプも好評を博しました。その一方で、欧州での景気後退とオンキヨーヨーロッパ社への事業譲渡による商流の変更により、販売は大きく減少しましたが、営業利益は改善しました。音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、日本を中心に設備音響機器、放送局向け機器は好調に推移しましたが、景気の停滞により欧米での販売が減少しました。

この結果、音響機器事業全体では、円高の影響に加え、欧米での景気低迷により減収減益となりました。

2) 情報機器事業

情報機器事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,999百万円（前年同期比35.6%減）となり、営業損失は594百万円（前年同期営業損失698百万円）となりました。

航空機搭載記録再生機器は安定した販売を維持、ストックビジネスである保守パーツ販売も堅調に推移しました。計測機器はデータレコーダーの販売は好調に推移し前年同期を上まわりましたが、センサーは半導体製造装置向けロードセルの販売に回復が見られず不調でした。医用画像記録再生機器はDICOM対応製品の販売が好調に推移しました。通話録音機器は好調に推移、ソリューションビジネスは、前年並みに推移しました。

光ディスクドライブは、収益性の低いPC向け販売を抑制したことに加え、市場での需要減に

より、減収となりました。

この結果、情報機器事業全体では、前年同期と比較して減収となりましたが、営業損失は縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は19,603百万円と前連結会計年度末と比較して33百万円減少しました。主な増減は、商品及び製品の増加1,015百万円、原材料及び貯蔵品の増加348百万円、受取手形及び売掛金の減少1,242百万円、現金及び預金の減少322百万円であります。

(負債)

負債は、16,109百万円と前連結会計年度末と比較して263百万円増加しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加350百万円、短期借入金の増加160百万円、退職給付引当金の減少258百万円であります。

(純資産)

純資産は、為替の円安による為替換算調整勘定の増加344百万円、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少543百万円等により296百万円減少し、3,494百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という）、前連結会計年度末と比較して322百万円減少し、3,858百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、337百万円のマイナス（前年同期490百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、仕入債務の増加額283百万円、売上債権の減少額1,310百万円、マイナス要因としては、税金等調整前四半期純損失587百万円、たな卸資産の増加額1,162百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、224百万円のマイナス（前年同期45百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、事業譲渡による収入335百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出201百万円、投資有価証券の取得による支出414百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、186百万円のプラス（前年同期34百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、短期借入れによる収入1,000百万円、マイナス要因としては、短期借入金の返済による支出839百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表しました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,915	4,592
受取手形及び売掛金	4,894	3,652
商品及び製品	3,050	4,065
原材料及び貯蔵品	1,244	1,592
繰延税金資産	661	683
その他	430	493
貸倒引当金	△103	△100
流動資産合計	15,093	14,979
固定資産		
有形固定資産	2,721	2,626
無形固定資産	402	394
投資その他の資産	1,644	1,825
貸倒引当金	△224	△222
固定資産合計	4,543	4,624
資産合計	19,637	19,603
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,988	2,338
短期借入金	4,511	4,672
1年内返済予定の長期借入金	13	12
賞与引当金	270	127
製品保証引当金	247	224
返品調整引当金	99	70
事業構造改善引当金	53	53
その他	1,337	1,636
流動負債合計	8,521	9,134
固定負債		
長期借入金	13	9
退職給付引当金	7,075	6,816
資産除去債務	12	10
その他	222	137
固定負債合計	7,324	6,974
負債合計	15,846	16,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	306	306
利益剰余金	2,259	1,715
自己株式	△107	△107
株主資本合計	8,458	7,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	△41
為替換算調整勘定	△4,773	△4,429
その他の包括利益累計額合計	△4,667	△4,470
少数株主持分	—	49
純資産合計	3,790	3,494
負債純資産合計	19,637	19,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	19,303	15,096
売上原価	12,654	8,993
売上総利益	6,648	6,103
販売費及び一般管理費	7,139	6,503
営業損失(△)	△490	△399
営業外収益		
受取配当金	8	5
持分法による投資利益	—	1
その他	62	85
営業外収益合計	70	93
営業外費用		
支払利息	140	132
売上割引	121	90
為替差損	79	70
その他	25	18
営業外費用合計	366	311
経常損失(△)	△786	△617
特別利益		
固定資産売却益	8	0
投資有価証券売却益	15	—
事業譲渡益	—	335
持分変動利益	—	4
その他	0	—
特別利益合計	24	340
特別損失		
固定資産除売却損	0	55
特別退職金	19	152
代理店解約損	—	38
その他	0	64
特別損失合計	19	309
税金等調整前四半期純損失(△)	△781	△587
法人税、住民税及び事業税	△3	△1
過年度法人税等	—	16
法人税等調整額	108	△53
法人税等合計	105	△38
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△886	△549
少数株主損失(△)	—	△5
四半期純損失(△)	△886	△543

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△886	△549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△146
為替換算調整勘定	△525	344
その他の包括利益合計	△586	197
四半期包括利益	△1,473	△351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,473	△345
少数株主に係る四半期包括利益	—	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△781	△587
減価償却費	423	342
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	△5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△311	△260
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△144
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△36	△27
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	12	△30
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△533	—
受取利息及び受取配当金	△10	△8
支払利息	140	132
持分法による投資損益 (△は益)	—	△1
持分変動損益 (△は益)	—	△4
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△8	55
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15	—
事業譲渡損益 (△は益)	—	△335
売上債権の増減額 (△は増加)	1,037	1,310
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△260	△1,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16	283
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	137	△13
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△145	278
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	5	△2
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△31	3
その他	153	32
小計	△278	△146
利息及び配当金の受取額	10	8
利息の支払額	△141	△136
法人税等の支払額	△81	△63
営業活動によるキャッシュ・フロー	△490	△337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△281	△201
有形固定資産の売却による収入	52	4
無形固定資産の売却による収入	71	—
投資有価証券の取得による支出	—	△414
投資有価証券の売却による収入	60	—
定期預金の預入による支出	△10	—
事業譲渡による収入	—	335
従業員に対する貸付けによる支出	△0	—
従業員に対する貸付金の回収による収入	0	0
その他	62	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45	△224

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	1,000
短期借入金の返済による支出	△455	△839
長期借入れによる収入	—	5
長期借入金の返済による支出	△11	△10
社債の償還による支出	△40	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27	△27
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結子会社の第三者割当増資による収入	—	59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34	186
現金及び現金同等物に係る換算差額	△227	52
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△798	△322
現金及び現金同等物の期首残高	4,593	4,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,795	3,858

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,321	9,316	18,637	665	19,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,321	9,316	18,637	665	19,303
セグメント利益又は損失（△）	253	△698	△444	△45	△490

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△444
「その他」の区分の損失（△）	△45
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△490

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,283	5,999	14,283	812	15,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,283	5,999	14,283	812	15,096
セグメント利益又は損失（△）	184	△594	△409	9	△399

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△409
「その他」の区分の利益	9
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△399

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。